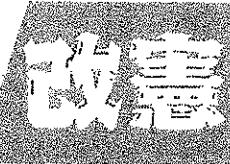


2/16 王旗

今までほくすいと黙っていましたが、黙つていられない。時代の空気が、再び戦争をするかも知れなく、やうになつてゐます。

日本がアメリカと開戦した

許すな 安倍9条



うしろく・としお 日本基督教団の牧師、同教団元議長。1922年和歌山市生まれ。1941年海軍兵学校卒業。海軍の士官として各地で戦闘に参加。戦後、京都市の世光教会などで牧師。日本基督教団議長はじめ、社会福祉法人近江ちいしば会理事、学校法人敬和学園理事長などを歴任。

が敗北し戦争の局面を大きく変えたミッドウェー海戦に参加しました。「赤城」など空母が次々沈められ、残つた空母から戦闘機が出撃する姿を見てきました。多くの仲

元日本基督教団議長

後宮 俊夫さん

聞を失いました。当時の人々も日本を守ろうと思い、命をかけたのです。相手の国人々の平和を考えず、「自分の國のことはばかり考え、「自衛」と思ってまさかで戦争をしてしまいました。一度と繰り返してはならない歴史です。

靖国を敬う首相

ないでしょうか。

困窮者の支援を

いま、安倍晋三首相は、9 条を変えていく上で日本を守るのと主張しています。自衛隊を憲法に明記する、自衛権を憲法に書き込むと言います。しかし、「自衛」を名目にしなかつた戦争はなかったのではあります。

日本が直接攻められなくても、集団的自衛権の行使としてアメリカの戦争に、自衛隊が参加できるようにしました。次の狙いは、その自衛権の無制限の拡張です。そのための9条改憲です。

日本が直接攻められなくて
も、集団的自衛権の行使として
アメリカの戦争に、自衛隊
が参加できるようにしまし
た。次の狙いは、その自衛権
の無制限の拡張です。そのた
めの9条改憲です。

民が、ひとしく恐怖と欠乏か
ら免かれ、平和のうちに生存
する権利を有することを確認
する」と言っています。私が
キリスト教に接近したきっかけ
は、戦後しばらく自分の生
き方を迷っていた時に出会い

戦争の空氣沈黙だめ

つもりだしよう。安倍首相は
先の日本の戦争をまったく反
省していないとしか思えませ
ん。

安倍首相がやつているの
は、戦争準備以外のなにもの
でもありません。首相は靖国
神社を大切にしています。戦
争中、戦争で死んで靖国神社
にまつられれば、家族は幸福
に生きていくと信じ込まさ
れました。それで多くの若者
が命を捨てていったのです。
靖国神社は若者を死においや
る道具でした。自衛隊の人も
殉職したら靖国神社にまつる
た牧師の「日の前の困難して
いる人を助けなさい」という
言葉でした。その言葉がキリ
ストの声だと思いました。今
世界には内戦のために、食べ
物に困っている人がいます。
そういう人のために、日本が
できることは、武力ではない
支援ではないでしょうか。前
文にはそれが書かれていま
す。その道こそ神の導きです。